

【令和5年度学校運営評価】

1、評価表

- ・評価項目 : 8領域 38項目
- ・評価尺度 : 5段階 5;よい 4;ややよい 3;普通 2;やや不十分 1;不十分

2、実施者と評価領域

- ・教員 : 全領域
- ・管理部職員 : IV、V、VI領域

3、全体の結果

令和3～5年度ののカテゴリ別評価平均の推移(表1、図1)は、3年間ほぼ同じ傾向でした。令和5年度の結果をみると、平均が普通以上は、I 教育課程・教育活動とV 管理営・財政が3.5、III 入学・卒業とIV 学校経営が3.4、II 学生生活への支援が3.3でした。また、平均が普通以下は、VII 教職員の育成が2.8、VI 施設・設備が2.6、VIII 地域との連携が2.5、でした。

表1: 令和3～5年度学校運営評価

評価領域	平均点		
	R3	R4	R5
I 教育課程・教育活動	3.7	3.5	3.5
II 学生生活への支援	3.5	3.4	3.3
III 入学・卒業	3.5	3.4	3.4
IV 学校経営	3.7	3.5	3.4
V 管理運営・財政	3.6	3.4	3.5
VI 施設・設備	2.5	2.4	2.6
VII 教職員の育成	2.8	2.7	2.8
VIII 地域との連携	2.3	2.5	2.5

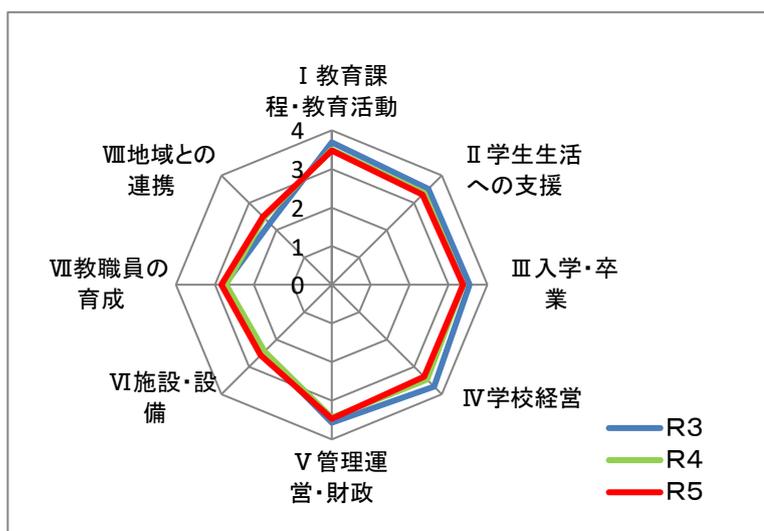


図1: 令和3～5年度学校運営評価

4、考察

新型コロナが5類に変更になりましたが、インフルエンザも流行し感染対応に神経を使いながらの年度となりました。また、新旧カリキュラムが混在する年度でした。昨年からの課題であった技術修得は、2年生の未修得者の実施時間や場所の確保が大変になりました。修得年度に修得できるように担当教員のサポート体制を整えるなど工夫していきたいと思っています。

令和5年度、学生の意見から、“空き時間の使い方”を変更したことにより、評価項目“学生の意見の反映”だけではなく、評価項目“学生の休息”にも効果がみられました。今後も学生の意見に耳を傾け改善していきたい。

気になる評価項目として、“授業内容や指導方法が学生レベルに合うように工夫・改善しているか”が、昨年より0.3低かったことです。これは学生全員に合うことやZ世代の特徴をふまえた授業や指導の難しさを表していると考えます。授業、国試対策やチューターを通して効果があった方法を教員間で共有し、より広い視野に立って学生に合わせた指導を実施していきたい。

また、精神面の不調を抱える学生が増えていることから、次年度もスクールカウンセラーの協力を得ながら学生に合わせた支援をしていきたいと考えています。